

神奈川県労働審議会 会長 様

神奈川県知事 黒岩 祐治



神奈川県における外国人労働者の労働環境等の整備に  
ついて（諮問）

1 諮問事項

神奈川県における外国人労働者の労働環境等の整備について

2 諮問の趣旨

少子化・高齢化の進展により生産年齢人口は減少し、長期的には労働力人口の減少が見込まれています。また、緩やかな景気回復基調を背景とした雇用情勢の改善などにより、既に様々な分野で人手不足の状況にあります。

このような中、深刻な人手不足の状況に対応するため、平成31年4月の改正出入国管理及び難民認定法の施行により、新たな外国人材の受入れ制度が始まりました。

新たな制度では、一定の専門性・技能を有し、即戦力となる外国人材を幅広く受け入れていく仕組みを構築するため、14の特定産業分野について、一定の技能を持つ外国人や技能実習終了後の希望者を対象とした新たな在留資格である「特定技能」が創設されました。

新たな在留資格が創設されたことなどにより、今後、一層多くの企業で外国人労働者を受け入れることが見込まれる一方、労働環境等における様々な課題も想定されます。

そこで、外国人労働者が日本人とともに生き生きと働くことができる労働環境等の整備を促進させる方策について、貴審議会に意見を求めます。